



親綱・緊張器

リース品

支柱用親綱・緊張器

販売品

[(一社)仮設工業会認定品]

フックと緊張器の直付けは当社考案です。
戻り、すべりが小さい親綱と緊張器です。



親綱類



親網緊張器(SMS16)

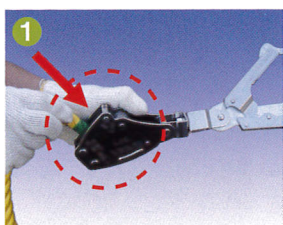
特長

1. 親網(直径16mm三つ打撚り(Z)合成繊維ロープ)を緊張器本体に1回通し強く引くだけで、容易に十分な張力を得られます。
2. 張設時や万一の墜落阻止時に親網のスベリや損傷が少ない構造で、大きな張力をかけても親網を確実に保持します。
3. 緊張器本体とフックの連結部はスイベル(回転継手)付きで、操作がしやすく親網のねじれも解消されます。
4. フック本体(特殊鋼)と緊張器のロープ受け(アルミ)を除く全てのパーツがステンレススチール製で、錆びにくく丈夫です。
5. (一社)仮設工業会の認定基準を十分に上回る強度・性能があります。

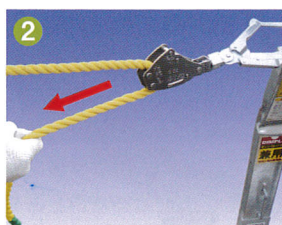


【使用手順】

■緊張の場合

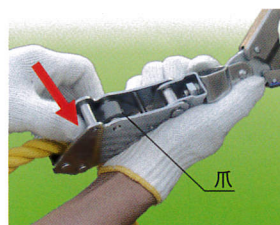


緊張器本体に刻印された矢印(↓)の方向に親網ロープの端末を通します。

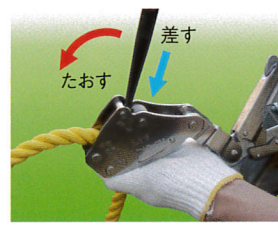


手前(フックと反対側)に強く引っ張って親網をピンと張ります。(張力は0.2~0.3kN程度が適切です。)

■開放の場合

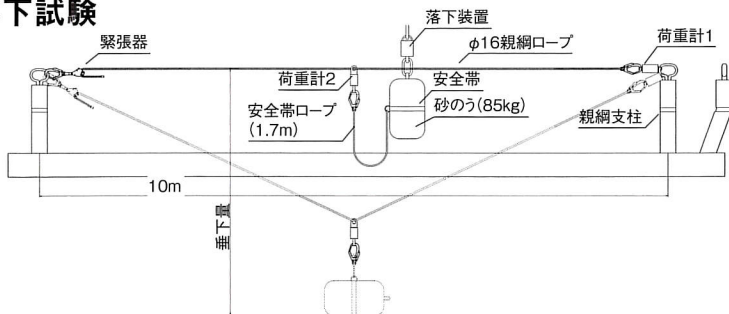


指先で爪のロープ側を強く押さえます。



指で開放できないときは、シノ等を差しテコを効かせて開放します。

落下試験



■落下試験結果

試験No.	親網システム仕様	親網初期張力 (kN)	親網取付側の衝撃荷重 (kN)	安全帯側の衝撃荷重 (kN)	緊張器ロープ滑り (mm)	垂下量 (目視)
1	φ16mm	0.25	5.18	3.72	16	3.9
2	ポリエステルロープ	0.25	5.13	3.67	16	3.9
3	フック付親網緊張器 親網支柱	0.25	5.15	3.66	17	3.9

◎認定合格証



◎親網緊張器(SMS16)には大嘉産業の親網・親網支柱・親網取付ベルトをご使用下さい。

使用上の注意事項

- お使いになる前に必ず製品の取扱説明書をよくお読みいただき、記載通りに正しくご使用願います。
- 親網には必ず十分な張力(0.2~0.3kN程度)を加え、全長たるみがないように張設して下さい。
- 親網緊張器(SMS16)は、直径16mm三つ打撚り(Z)の合成繊維ロープ専用です。
- 親網端末を緊張器に通す際は、必ず緊張器本体に刻印された矢印の通りに挿通して下さい。逆方向に通すと、親網ロープが保持されませんので、絶対に間違わないようにして下さい。
- '角掛け'・'回し掛け'(緊張器のフック・緊張器本体・親網が取付構造物等に面で接触し『ねじれて引かれる』ような掛け方)は回避して下さい。